

(宮崎県商工会議所連合会 共同事業)

宮崎県内企業景況調査報告書

2024年10月～12月期

第115回

宮崎県商工会議所連合会

(幹事:宮崎商工会議所)

目 次

1. 実施概要
2. 調査結果(DIの推移)
3. 概況
4. 県内の景気動向
 - (1)前期比 令和6年7月～9月比
 - (2)前年同期比 令和5年10月～12月比
 - (3)来期見通し 令和7年1月～3月見通し
5. 業種別の景気動向
 - (1)製造業
 - (2)建設業
 - (3)卸売業
 - (4)小売業
 - (5)サービス業(飲食関連・観光関連を含む)
6. 経営上の問題点
7. 今後の対応策
8. 国・県等への要望

1. 実施概要

(1) 回答率

| | |
|---------|-------|
| 調査対象企業数 | 500社 |
| 回答企業数 | 116社 |
| 回答率 | 23.2% |

(業種別)

| | |
|-------|------|
| 製造業 | 34社 |
| 建設業 | 33社 |
| 卸売業 | 5社 |
| 小売業 | 24社 |
| サービス業 | 20社 |
| 合計 | 116社 |

(2) 調査対象月

2024年10月～12月期

(3) 調査依頼期間

2024年12月24日(火) ～ 2025年1月17日(金)

(4) 調査内容

調査対象の第3四半期の前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高（出荷額・受注額）、採算（経常利益ベース）、資金繰りの状況、仕入れ単価（資材、原材料、商品）、雇用（労働力）状況（パート含む）、設備投資計画、業況の項目ごとに景況感を調査した。

(5) 調査対象

県内9つの商工会議所（宮崎・都城・延岡・日向・高鍋・日南・小林・串間・西都）の地域の実情を考慮して、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種で合計500社を調査対象とした。

(6) 調査方法

県内9商工会議所において、それぞれの地域の調査対象企業へ調査票を送付し、回答をFAX等で返信していただき、それぞれの商工会議所で行った調査結果を宮崎商工会議所経営指導部が集約して、集計分析を行った。

2. 調査結果(DI)

DIとは（景況判断指数）とは

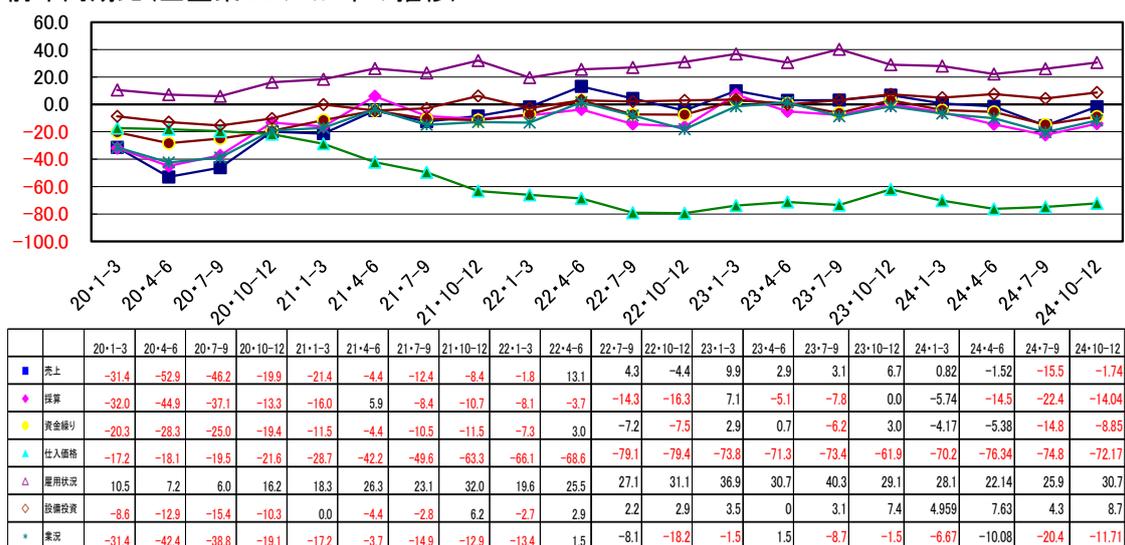
DIは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての、判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味します。

| | | | | |
|--------|---|-----------|---|-----------|
| 売上DI | = | (増加回答の割合) | — | (減少回答の割合) |
| 採算DI | = | (好転 ") | — | (悪化 ") |
| 資金繰りDI | = | (好転 ") | — | (悪化 ") |
| 仕入価格DI | = | (下落 ") | — | (上昇 ") |
| 雇用状況DI | = | (不足 ") | — | (過剰 ") |
| 設備投資DI | = | (拡大 ") | — | (減少 ") |
| 業況DI | = | (好転 ") | — | (悪化 ") |

2. 調査結果 (DI)

前年同期比(全企業DIの5か年の推移)



3. 概況

(1) 今期の特徴

今期は年末需要や冬期需要による好転を示すDI値が見られた一方で、仕入価格上昇と人手不足に対する課題感を感じている状況が見られた。特に人手不足により売上が立たず、機会損失が発生しているというコメントも見られた。

(2) 来期の見通し

来期の見通しは年度末に向けての需要を見込む業種がある一方で、ここ数年続く原材料・仕入価格高騰により見通しが立たないと心配する企業がある一方で、新規事業への挑戦や売上の価格転嫁を目指す企業もあり、前向きなコメントも見られた。

(3) 経営上の問題点

1位「原材料(仕入単価)価格の上昇」、2位「需要の停滞」、3位「人件費の増加」、4位「従業員の不足」、5位「熟練技術者(従業者)の不足」という結果になった。

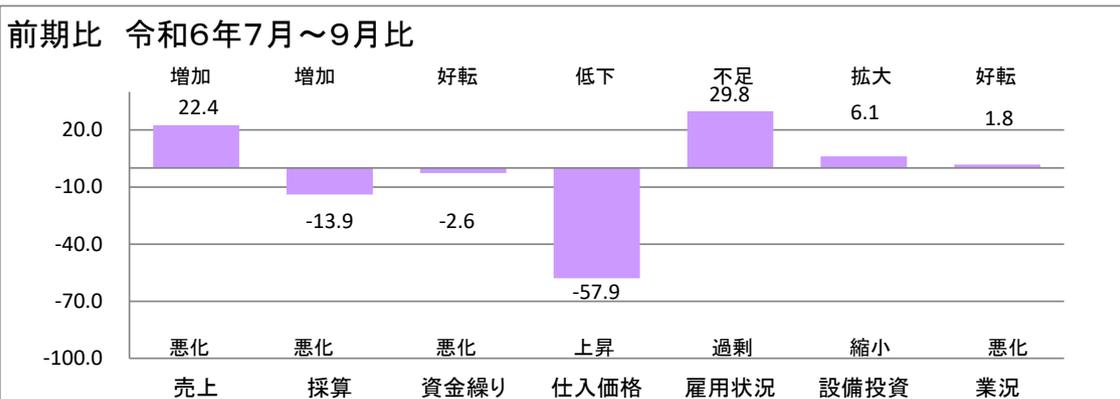
(4) 今後の対応策

1位「生産性を向上させたい」、2位「従業員を新規雇用したい」、3位「新規市場を開拓したい」、4位「その他の合理性を実施したい」、5位「経営の多角化を行いたい」という結果になった。

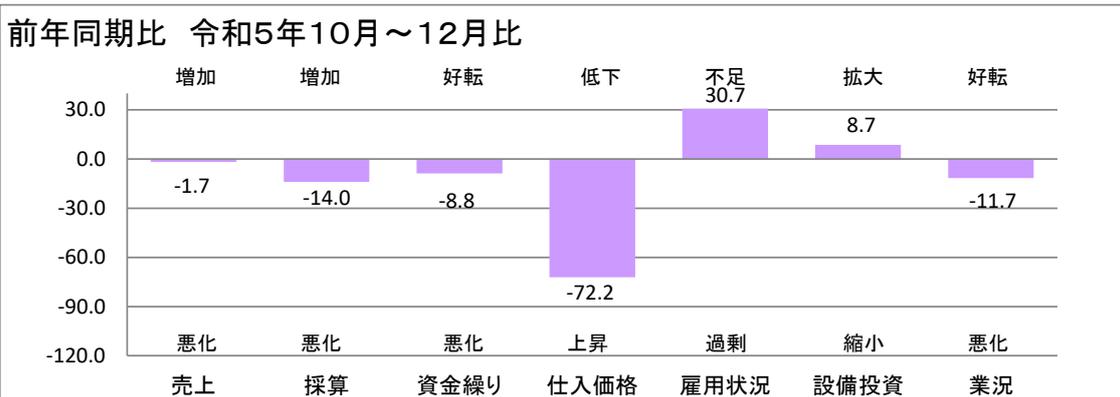
(5) 総括・分析

一部業種では売上のDIの増加がみられるものの、全業種を通じて仕入価格上昇と人手不足が経営に大きなマイナス影響を与えている。また、ここ数年続く物価高の影響で先行きが見えない不安感について言及する企業も見られた。

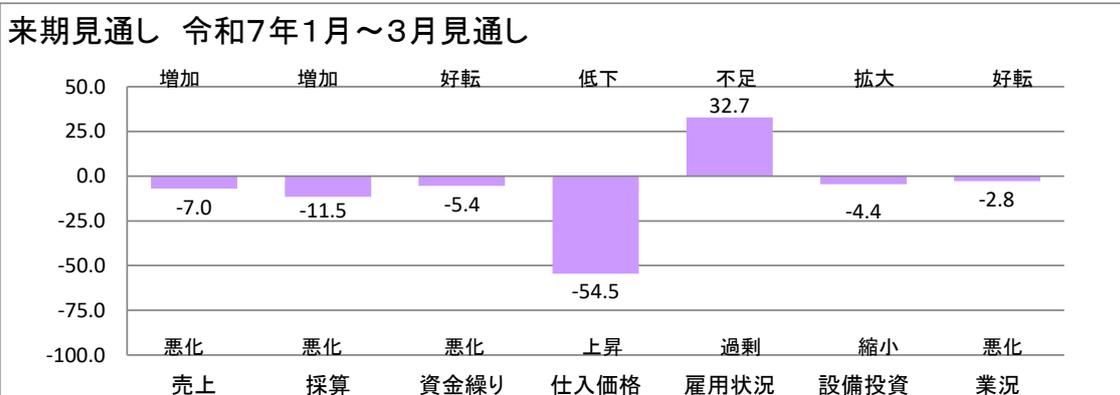
4. 県内の景気動向(全業種)



前期比は売上DIは増加、採算DI、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、業況DIは好転となった。製造業、建設業、小売業、サービス業では売上増加と転じた企業が多かったが、卸売業は売上悪化と感じている企業が多かった。仕入価格の上昇、雇用状況の不足については全業種を通じて課題を感じているコメントが見られた。



前年同期比は売上DIはわずかに悪化、採算DI、資金繰りDI、業況DIは悪化、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大となった。特に小売業では仕入価格DIのポイントが全業種の中で一番上昇しており、仕入価格高騰についてのコメントが多く見られた。

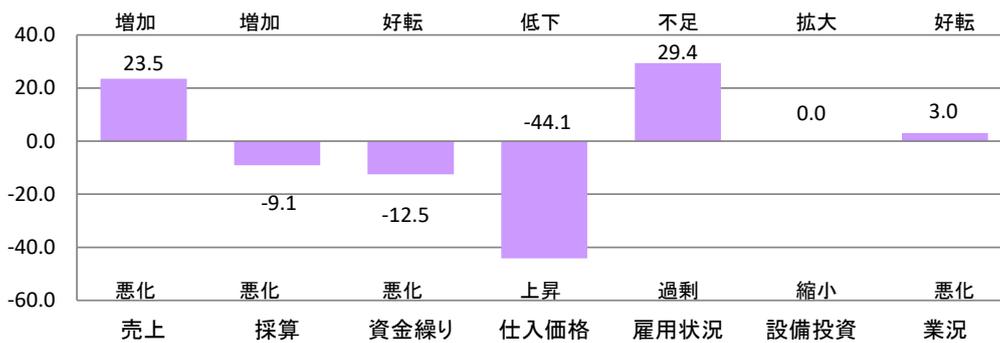


来期見通しは、売上DI、採算DI、資金繰りDI、業況DIは悪化、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは縮小となった。年度末や冬期需要の見込みを期待する一方で、仕入価格や人件費の上昇分を価格転嫁できず、利益を圧迫しているコメントが見られる。

5. 業種別の景気動向

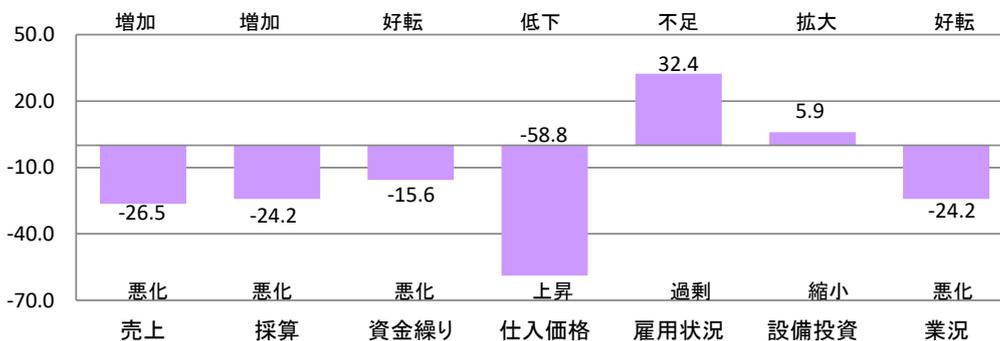
(1) 製造業

前期比 令和6年7月～9月比



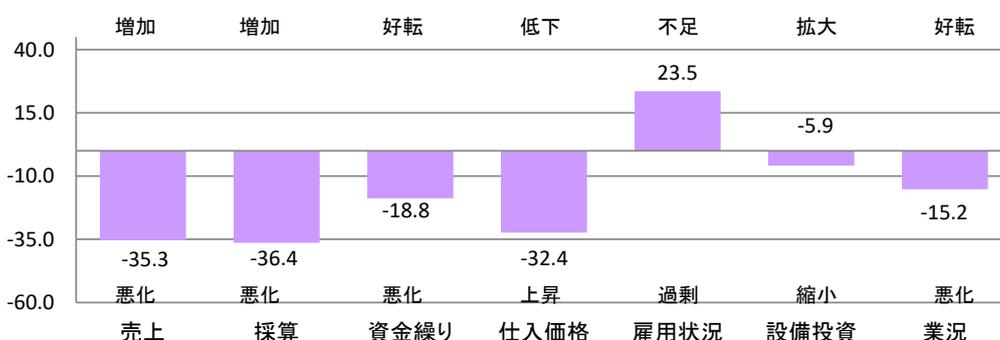
前期と比較すると売上DIは増加、採算DI、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは0、業況DIはわずかに好転となった。状況については不変もしくは悪化と回答する企業が多く、売上が上昇しても人件費や仕入諸経費も増加傾向にあるので、経常利益が悪化していると回答している企業も見られた。

前年同期比 令和5年10月～12月比



前年同期比と比較すると、売上DI、採算DI、資金繰りDI、業況DIは悪化、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIはわずかに拡大となった。年末にかけて受注が増えてきたと回答する企業がある一方で、円安による輸入原材料価格の高騰による悪化について言及する企業が見られた。

来期見通し 令和7年1月～3月見通し

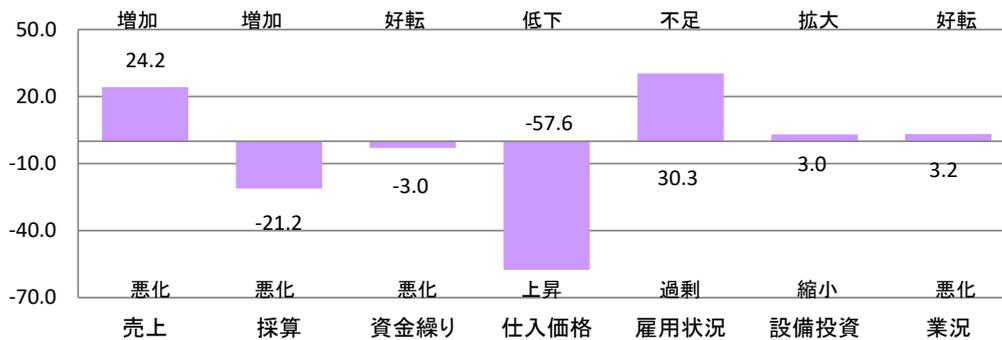


来期見通しは売上DI、採算DI、資金繰りDI、業況DIは悪化、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは縮小となった。すべてのDI値が厳しい結果となっている一方で、好転と回答した企業については、年度末から次年度にかけての受注や半導体をはじめ、自動化設備など受注が広がっていくと感じているという回答が見られた。

5. 業種別の景気動向

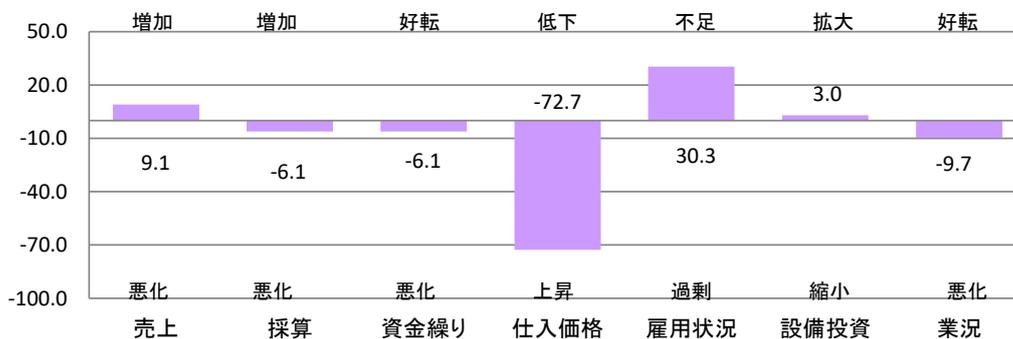
(2) 建設業

前期比 令和6年7月～9月比



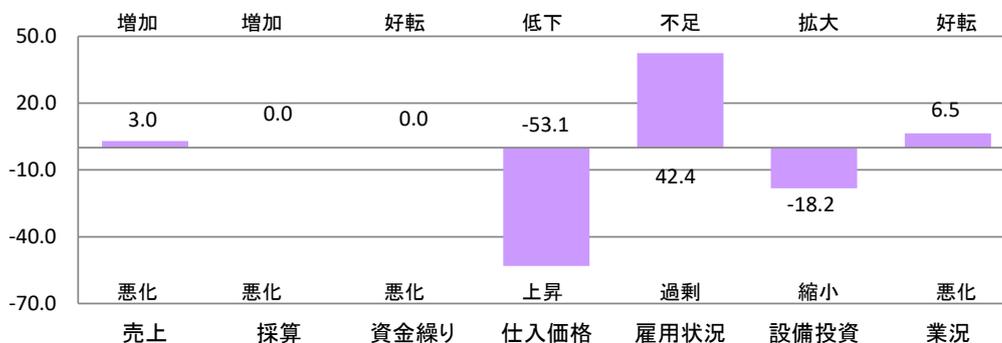
前期比は売上DIは増加、採算DI、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIはわずかに拡大、業況DIはわずかに好転となった。工事の受注件数が増加したというコメントをする企業が見られる一方で、材料費、燃料費の高騰により採算が悪化していると回答する企業も見られた。

前年同期比 令和5年10月～12月比



前年同期比は売上DIは増加、採算DI、資金繰りDI、業況DIは悪化、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIはわずかに拡大となった。材料仕入価格上昇について言及する企業や、工事の発注があっても、人材不足により受注ができないというコメントをする企業が見られた。

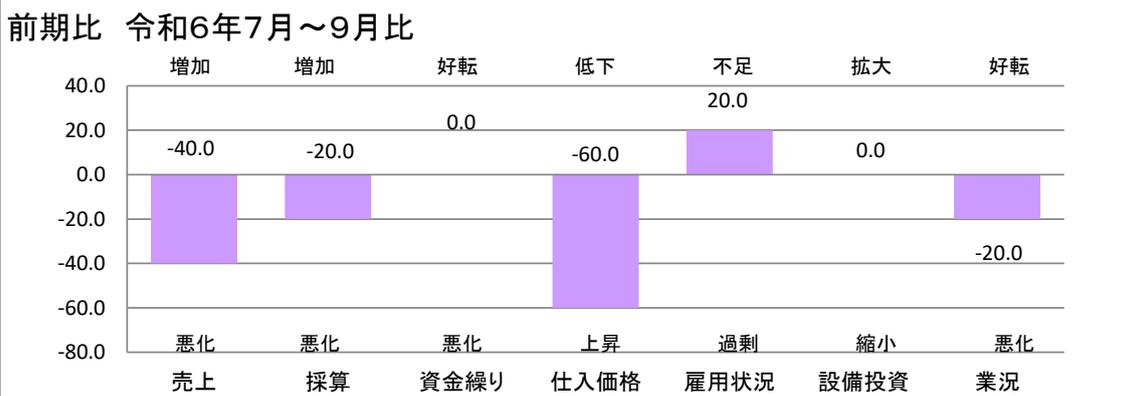
来期見通し 令和7年1月～3月見通し



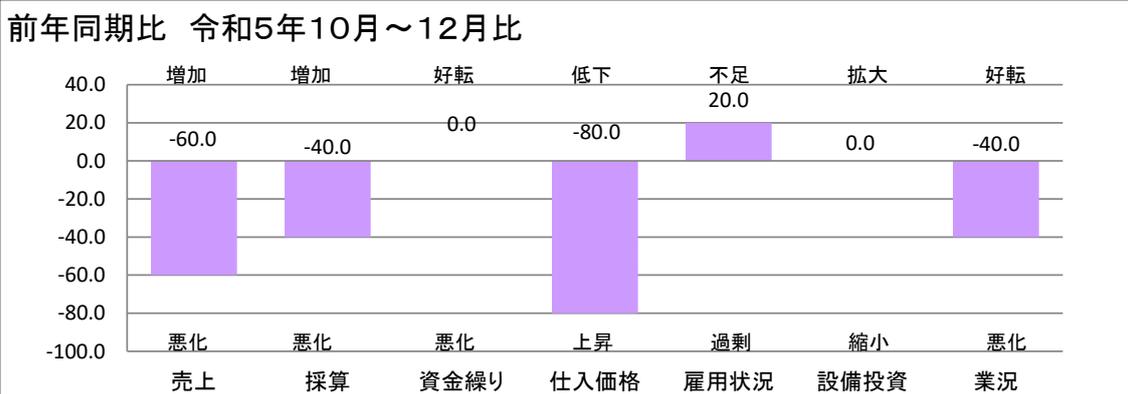
来期見通しは、売上DIはわずかに上昇、採算DI、資金繰りDIは0、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは縮小、業況DIはわずかに好転となった。全体的に業況を不変と回答した企業が多かったが、仕入価格上昇、雇用状況の不足については共通の課題として挙げる企業が見られた。

5. 業種別の景気動向

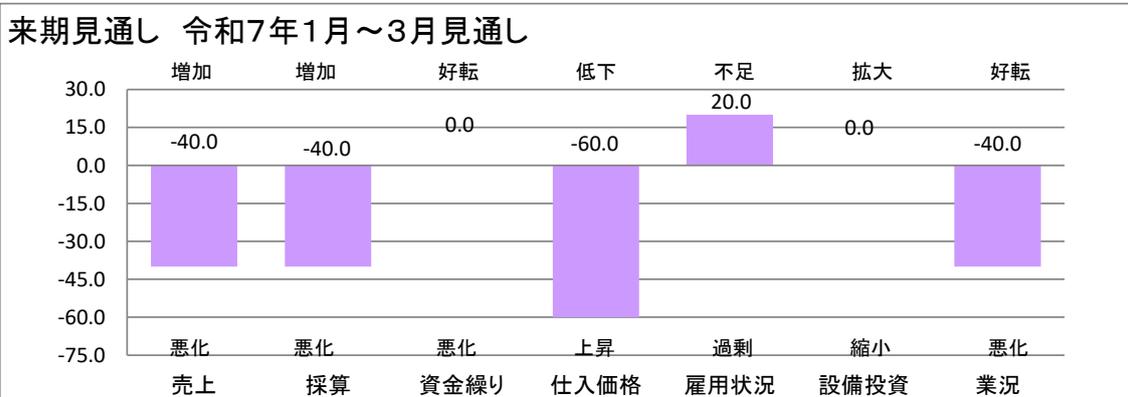
(3) 卸売業



前期比は売上DI、採算DI、業況DIは悪化、資金繰りDI、設備投資DIは0、雇用状況DIは不足となっている。価格高騰による消費者の需要の減少が影響していると回答する企業が見られた。



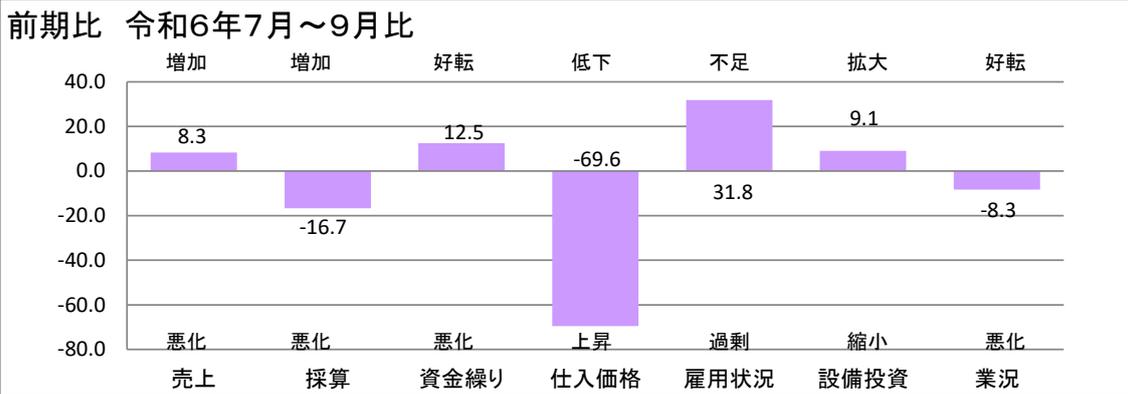
前年同期比は売上DI、採算DI、業況DIは悪化、資金繰りDI、設備投資DIは0、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは不足となった。物価高による消費の冷え込みや季節ものの商品の動きの鈍化についてコメントする企業が見られた。



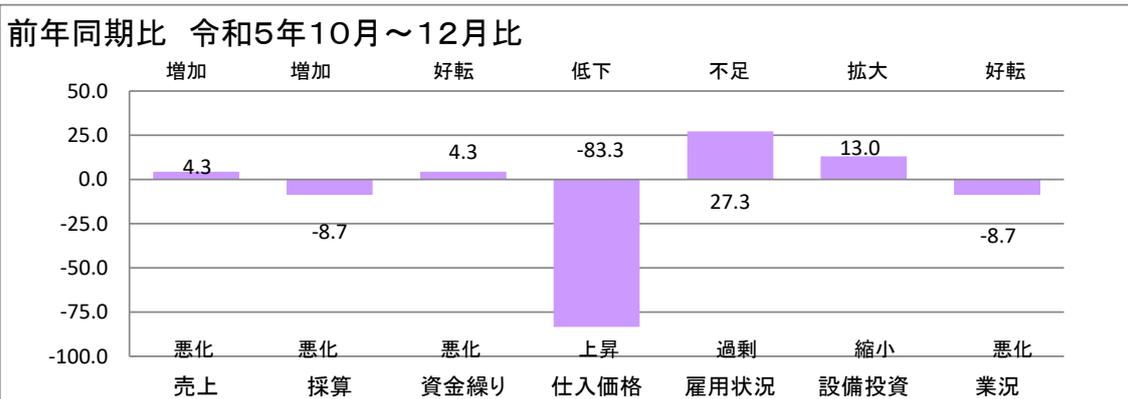
来期見通しは売上DI、採算DI、業況DIは悪化、資金繰りDI、設備投資DIは0、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは不足となった。消費の冷え込み、冬期の季節商品の売れ行きの状況から、来期の見通しが立たないというコメントをする企業が見られた。

5. 業種別の景気動向

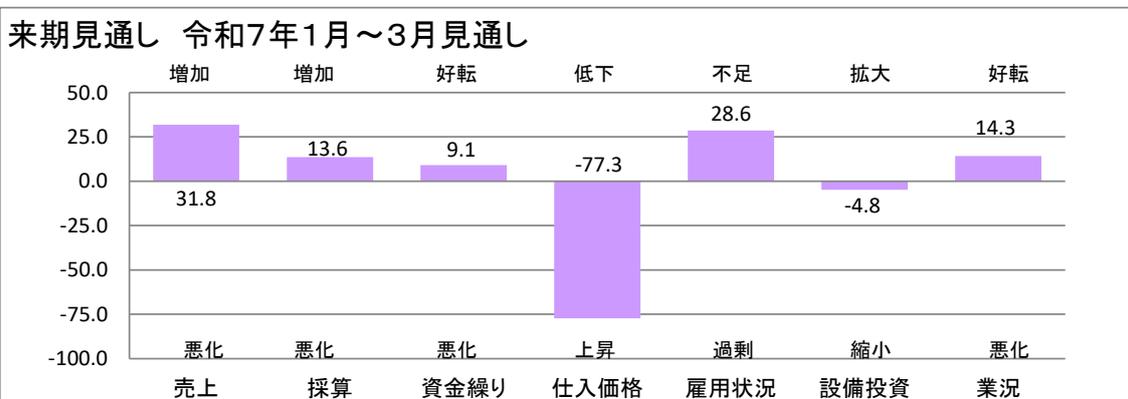
(4) 小売業



前期比は売上DIは増加、採算DI、業況DIは悪化、資金繰りDIは好転、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIはわずかに拡大となった。店舗改装や新規事業による売上増加に言及する企業が見られた一方で、8月に発生した地震の影響で拡大していた需要がある程度落ち着きにより、一時的に好転していた業況が元に戻ったと回答する企業も見られた。



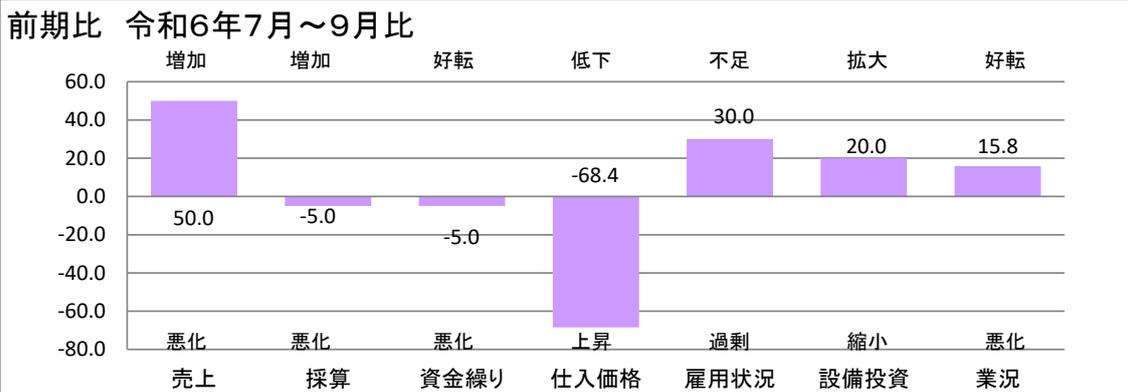
前年同期比は売上DIはわずかに増加、採算DI、業況DIはわずかに悪化、資金繰りDIはわずかに好転、仕入価格DIは大きく悪化、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大となった。仕入価格DIは全業種の中で上昇ポイントが一番大きくなった。仕入価格上昇についてコメントする企業も多く見られた。



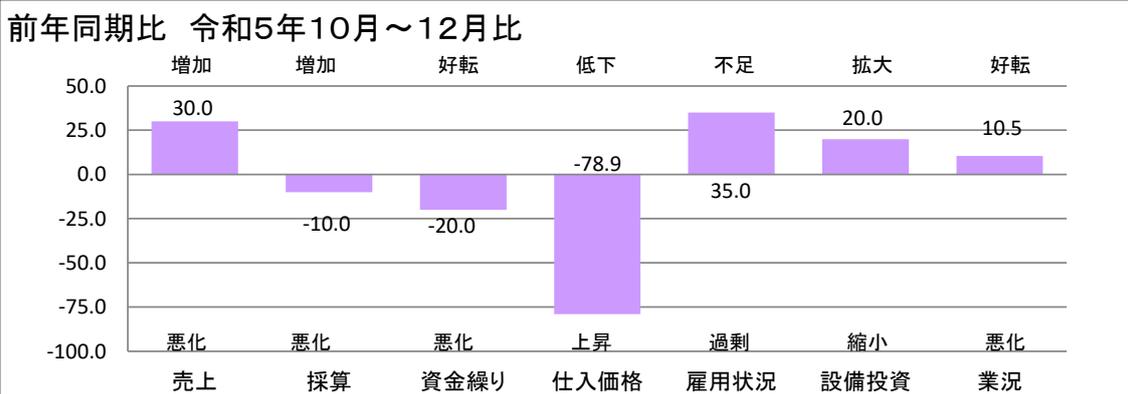
来期見通しは、売上DI、採算DIは増加、資金繰りDI、業況DIは好転、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは縮小となった。年度末や冬期需要の見込みを期待するコメントやコスト上昇分を価格転嫁の実施や新規事業による収益確保に取り組むといったコメントが見られた。

5. 業種別の景気動向

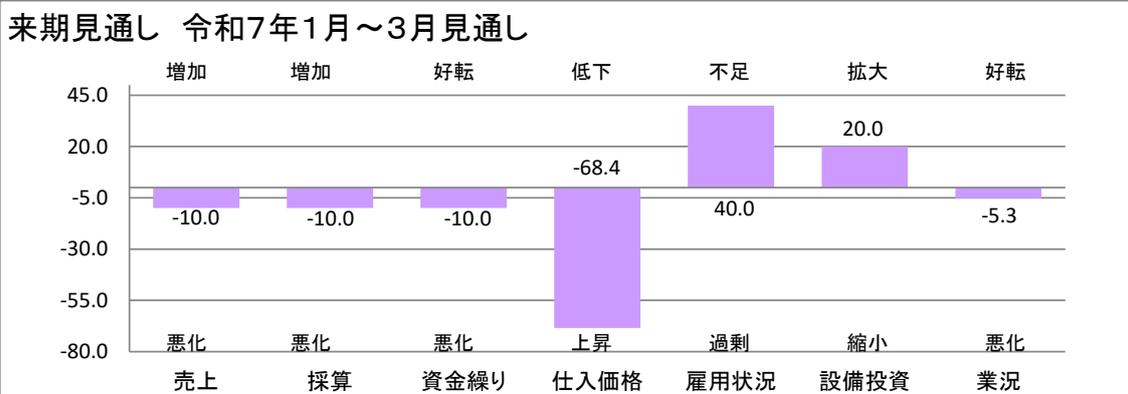
(5) サービス業



前期比は売上DIは増加、採算DI、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、業況DIは好転となった。イベントによる観光需要で好転とコメントする企業が見られたが、人手不足で仕事が確保できないというコメントも見られた。



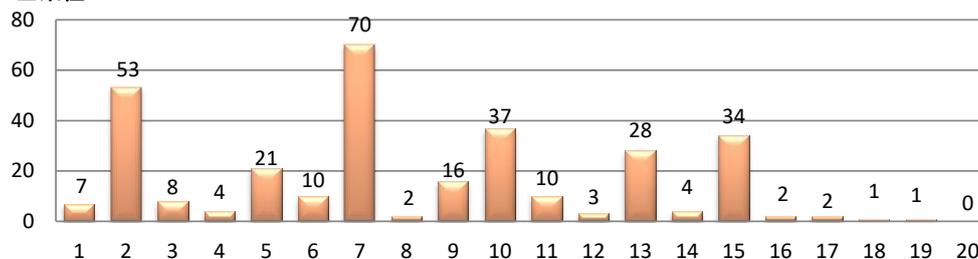
前年同期比は売上DIは増加、採算DI、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、業況DIは好転となった。売上は増えているものの、人件費や諸経費の上昇により採算が悪化、また人手不足により売上が伸び悩んでいるというコメントが見られた。



来期見通しは売上DI、採算DI、資金繰りDI、業況DIは悪化、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大となった。全体的に不変もしくは悪化と見込む企業がわずかに多くなっている。人材不足の課題を克服できれば業況は好転すると予測するコメントが見られた。

6. 経営上の問題点

全業種



順位

1位 原材料(仕入単価)価格の上昇

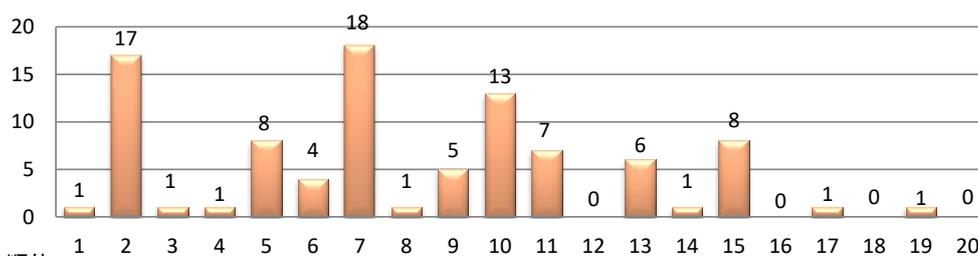
4位 従業員の不足

2位 需要の停滞

5位 熟練技術者(従業者)の不足

3位 人件費の増加

製造業



順位

1位 原材料(仕入単価)価格の上昇

4位 生産設備の不足・老朽化

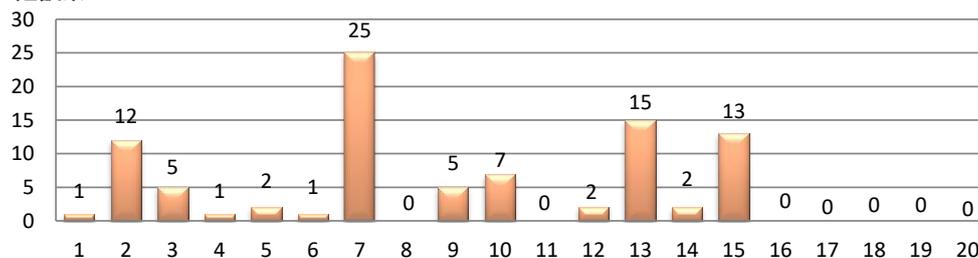
2位 需要の停滞

4位 従業員の不足

3位 人件費の増加

6位 製品(販売)単価の低下・上昇難

建設業



順位

1位 原材料(仕入単価)価格の上昇

4位 需要の停滞

2位 熟練技術者(従業者)の不足

5位 人件費の増加

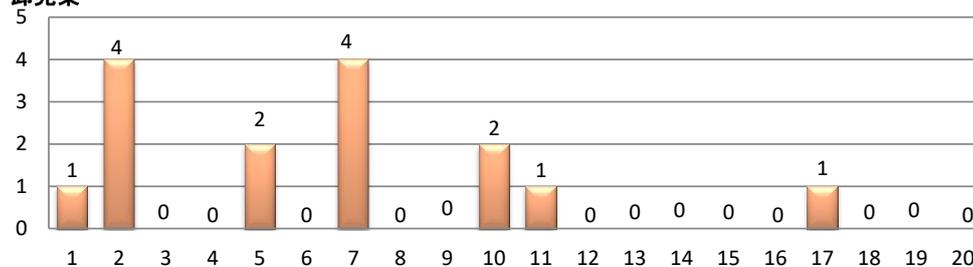
3位 従業員の不足

【項目一覧】

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 円高による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

6. 経営上の問題点

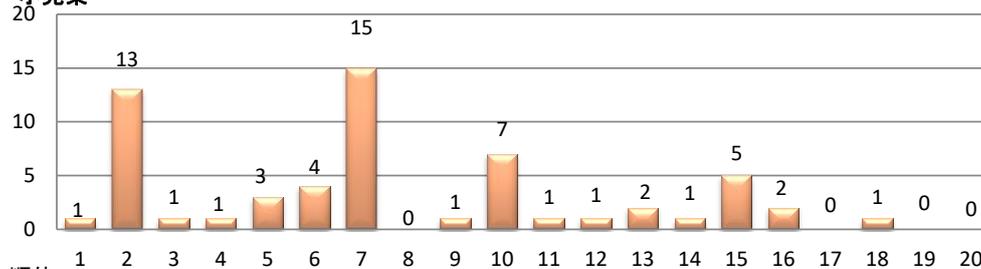
卸売業



順位

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1位 需要の停滞 | 3位 人件費の増加 |
| 1位 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 5位 県外大手企業の進出による競争の激化 |
| 3位 生産設備の不足・老朽化 | 5位 製品(販売)単価の低下・上昇難 |
| | 5位 商品在庫の過剰 |

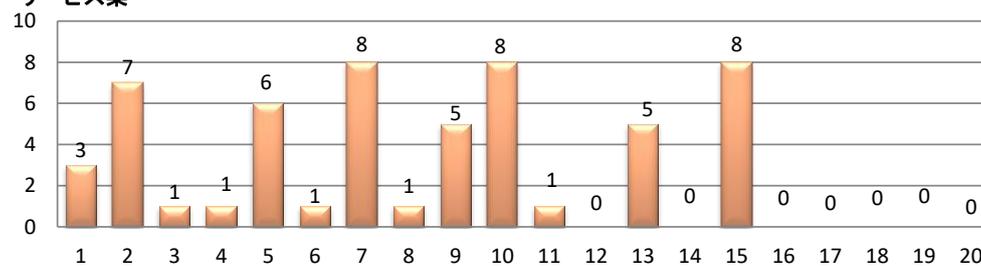
小売業



順位

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1位 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 4位 従業員の不足 |
| 2位 需要の停滞 | 5位 製品ニーズの変化 |
| 3位 人件費の増加 | |

サービス業



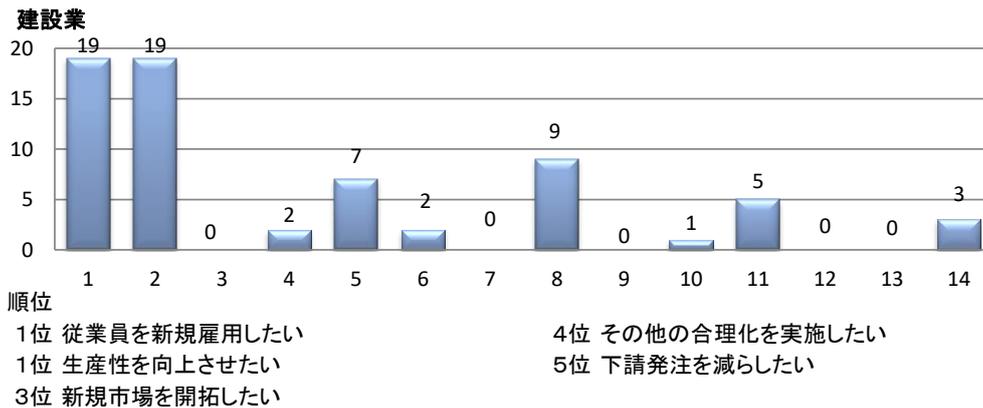
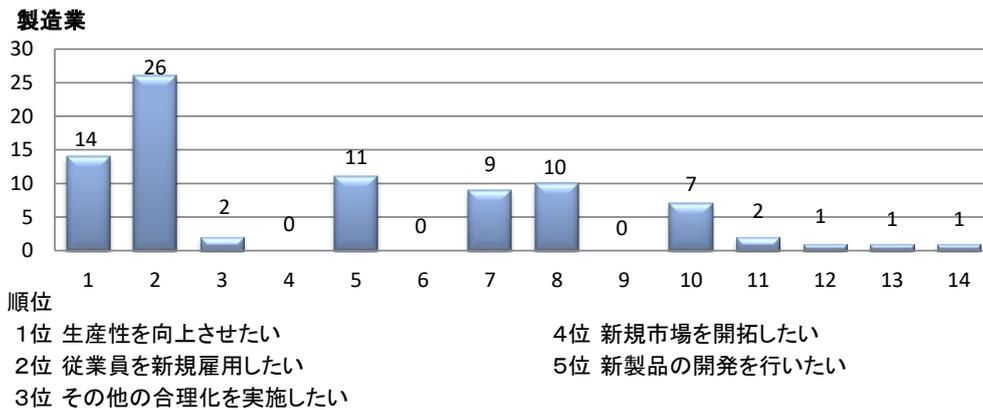
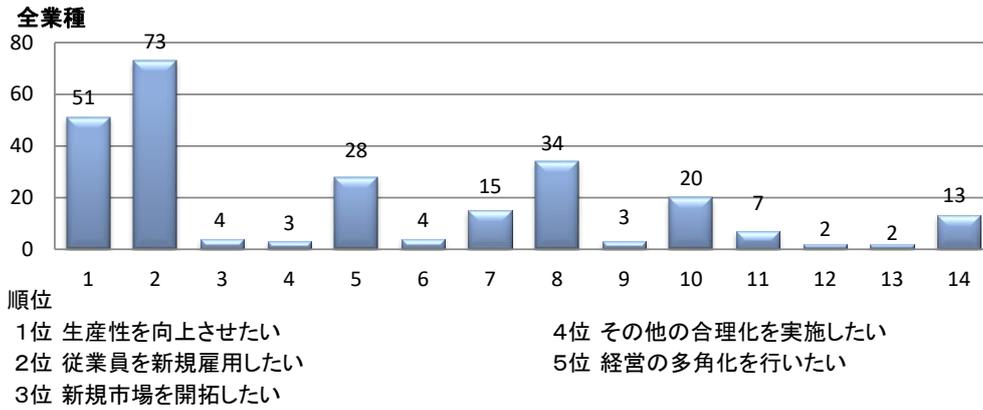
順位

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1位 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 4位 需要の停滞 |
| 1位 人件費の増加 | 5位 生産設備の不足・老朽化 |
| 1位 従業員の不足 | |

【項目一覧】

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 為替相場による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

7. 今後の対応策

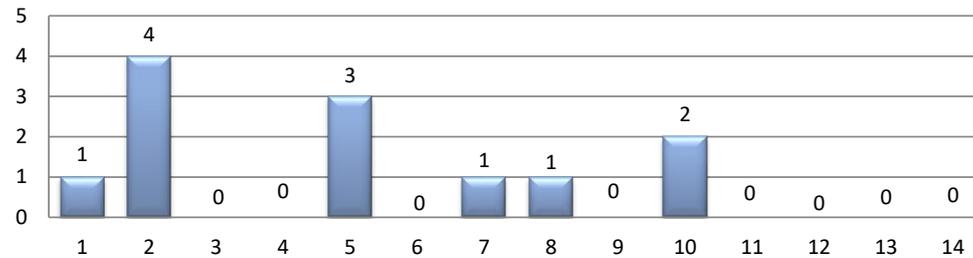


【項目一覧】

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1.従業員を新規雇用したい | 2.生産性を向上させたい |
| 3.人件費を削減したい | 4.生産調整を行いたい(操業短縮など) |
| 5.その他の合理化を実施したい(製造工程の簡素化など) | 7.新製品の開発を行いたい |
| 6.金融機関から資金を調達したい | 9.業種転換を行いたい |
| 8.新規市場を開拓したい | 11.下請け発注を減らしたい |
| 10.経営の多角化を行いたい | 13.海外から原料・部品を調達したい |
| 12.海外へ生産拠点を移したい | |
| 14.その他 | |

7. 今後の対応策

卸売業



順位

1位 生産性を向上させたい

4位 従業員を新規雇用したい

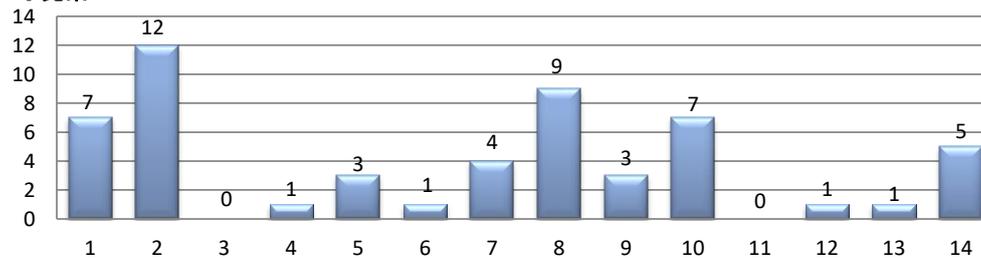
2位 その他の合理化を実施したい

4位 新製品の開発を行いたい

3位 経営の多角化を行いたい

4位 新規市場を開拓したい

小売業



順位

1位 生産性を向上させたい

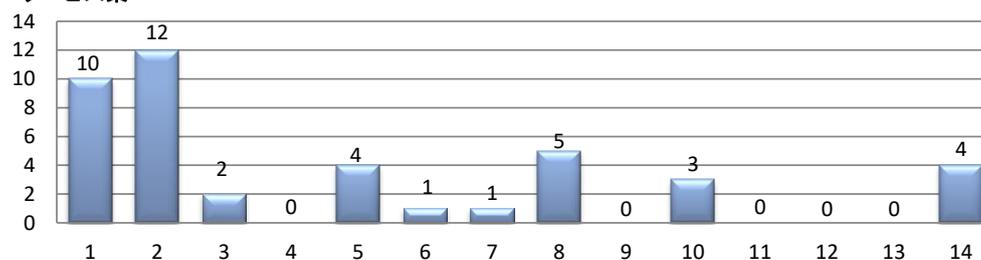
3位 経営の多角化を行いたい

2位 新規市場を開拓したい

5位 その他(例えば:価格転嫁)

3位 従業員を新規雇用したい

サービス業



順位

1位 生産性を向上させたい

4位 その他の合理化を実施したい

2位 従業員を新規雇用したい

4位 その他(例えば:価格転嫁)

3位 新規市場を開拓したい

【項目一覧】

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1.従業員を新規雇用したい | 2.生産性を向上させたい |
| 3.人件費を削減したい | 4.生産調整を行いたい(操業短縮など) |
| 5.その他の合理化を実施したい(製造工程の簡素化など) | 7.新製品の開発を行いたい |
| 6.金融機関から資金を調達したい | 9.業種転換を行いたい |
| 8.新規市場を開拓したい | 11.下請け発注を減らしたい |
| 10.経営の多角化を行いたい | 13.海外から原料・部品を調達したい |
| 12.海外へ生産拠点を移したい | |
| 14.その他 | |

8. 国・県への要望

| 業種名 | 事業内容 | 地域 | 国県への要望 |
|-------|--|----|--|
| サービス業 | 衣料品販売業 | 都城 | 減税、可処分所得を増やしてほしい |
| 小売業 | 機械工具販売 | 都城 | 物価の安定につながる明確な対策が購買意欲・設備投資等の意欲向上につながるのではと思っています。 |
| 小売業 | 飲食良品小売業 | 都城 | 資金面での調達がしやすくなるとうれしいです。 |
| 建設業 | 管・水道施設工事業 | 都城 | 今年の動向は読めないですね。国内・海外共に |
| 小売業 | ソフトウェアの開発、販売 OA機器の販売 パッケージソフトの販売 | 宮崎 | 国が進めている自治体基幹業務の標準化への対応(国)、スケジュールの調整、補助金の増額、電気、ガソリン等の値下げ(国) |
| 建設業 | 塗装業 | 延岡 | 物価上昇に対する対策 環境対策などに必要な経費の補助金の拡充 外国人受入れに対する支援(日本語学習や金銭的な問題、生活援助など) 外国人の就労ビザの拡充(範囲を広げることはいか?) |

| | | | |
|-------|-----------|----|--|
| 小売業 | 切花鉢物販売 | 延岡 | 年々とお正月の伝統のお祝いの方が簡素化されてきている。農林水産省はもっと日本人としての松竹梅や正月に花を飾ること！を広めてほしい。個店の努力には限界があります。 |
| 製造業 | 機械金属加工 | 延岡 | 最低賃金の高騰で労務費の価格転嫁など製品で、利益が出しづらくなってきています。自社内での効率化を進め努力していく事の必要性があるので、設備投資などの補助をお願いします。 |
| 製造業 | 電気機械器具製造業 | 延岡 | 最低賃金の急激な引き上げに対する緩和策 地方における人材採用支援 |
| 卸売業 | 酒類・食品卸売 | 日向 | 国はプライマリーバランスの均衡などの間違った経済対策を改めて積極財政に取り組んでほしい。まずは消費税減税。 |
| サービス業 | タクシー業 | 日向 | 光熱費、人件費高騰のため厳しい状況が続きそうです |
| 小売業 | 食品小売業 | 高鍋 | 定額減税等の施策実施は構わないが、企業への負担ばかりが押し掛かる。(インボイスetc)マイナンバーもあるのだから、全てをシンプルに進める制度にしていきたい。 |

| | | | |
|-------|--------|----|--|
| 建設業 | 建築一式工事 | 高鍋 | 住宅リフォーム等の国の補助金、助成金は様々あるが、国から一般ユーザーに対してわかりやすくPRしてほしい。(補助金があることを知らない消費者が多い)一企業としてのPRには限界がある。 |
| サービス業 | 廃棄物処理業 | 日南 | とにかく税金を減らしてください。 |
| 小売業 | 百貨店 | 日南 | 人口減、高齢化の抜本改革がない状況で高い高上昇は不可能。ストロー化現象に全く歯止めがかからない。 |
| 小売業 | 家電販売 | 日南 | 需要の停滞や人手不足など現在直面している問題の多くは地域経済の停滞による影響が大きいと感じている。人を呼び込んで終わりではない長い目で見た地方創生に期待している。 |
| 建設業 | 建設業 | 日南 | 若者の地域外への流出防止、移住者およびUターン、Iターンの増加等の長期的な人口減少への対策をお願いします。 |
| 小売業 | 事務用品販売 | 日南 | 国…税金の見直し。変な法律を作らないでほしい。 県、地方…宮崎県のPRを続けてほしい。 (最近、宮崎の知名度の上昇と、他県の人から見た宮崎の良さのイメージを感じる) |

| | | | |
|-------|------------|----|--|
| 小売業 | サービス業 | 日南 | 2024年度は、地震や洪水などの災害の影響により、日南市への市外からの来訪者数が大幅に減少しています。特に2024年の地震や洪水以降、この傾向が顕著で、観光業や地域経済への影響が深刻です。今後、アクセス改善や防災インフラの強化、観光資源の魅力発信などを通じて、来訪者数の回復と地域活性化に向けた取り組みを強化する必要があると思います。 |
| 小売業 | 工芸品販売 | 日南 | とにかく物価上昇を何とかしてほしい。 |
| サービス業 | 総合コンサルティング | 日南 | 人手不足倒産を止めないこと、労働生産性の低い業種から高い業種への人材流動を止めないことが大事。そのためにも企業の延命補助金は廃止すべき。経営者が自己破産まで至らない制度を導入して廃業を進め経済に新陳代謝を生み出すべし。ただでさえ有効求人倍率2を超えている工場を誘致して500人の雇用を創出とか昔話をしてないで現実を見て付加価値労働生産性を上げるための施策に集中すべし。雇用を減らし廃業を進める政策への転換が必要。 |
| 小売業 | 事務機、事務用品販売 | 小林 | 人件費増加に伴い売上利益に追いついていない。物価高騰に伴う中小企業への支援政策があるとありがたいです。 |
| 製造業 | 焼酎製造業 | 小林 | 販路開拓、営業活動の支援を引き続きお願いいたします。 |
| サービス業 | 産廃物処理業 | 小林 | 円安、エネルギー価格高騰への対応 |

| | | | |
|-------|----------|----|--|
| 製造業 | 被服縫製業 | 串間 | 高齢化が進んでおり10年後の先を見据えた時の平均年齢が高くなると思う。 |
| 建設業 | 住宅建築業 | 串間 | 新築工事に対する国の規制が厳しくなり基準を満たす工事は坪単価を引上げ施工側も施主側も大きな負担となります。新しく受注することはむずかしくなると思います。 |
| 小売業 | プロパンガス | 西都 | 税制改革 |
| 建設業 | 造園業 | 西都 | 人口増加(キャパの増加)に向けた取り組み |
| 小売業 | 石油販売業 | 西都 | 燃料価格仕入の上昇が非常に高く消費者の方々から苦情(国に対して)多い。宮崎県の移動手段に欠かせない車をどうしても使わなければならない。物価が上がる現在、特にお金のかかる商品である。これ以上価格上昇があれば家庭への負担は積もるばかりである。国の補填なしでは大変であり明確である。ガソリン価格＝ガソリン税53.8円＋石油石炭税2.04円温暖化対策税0.76円これに消費税がかけられる！！多すぎる税なぜ税を下げないのか？税に税がかけられる？今でも納得出来ない！！ |
| サービス業 | 自動車整備業 | 西都 | ・減税・消費税(インボイス)の促進 |
| 小売業 | 調剤・医薬品販売 | 西都 | 仕入値高騰、人口減による消費減のところへ、国は人件費を上げるように言っている。中小企業にとっては、自分の首をしめるようなものである。 |

| | | | |
|-------|---------|----|---|
| サービス業 | クリーニング業 | 西都 | 業界需要の減少・業者の高齢化・後継者不足に加えて、材料、燃料費の高騰、賃金高騰など経営負担が大きくなっている。 |
|-------|---------|----|---|